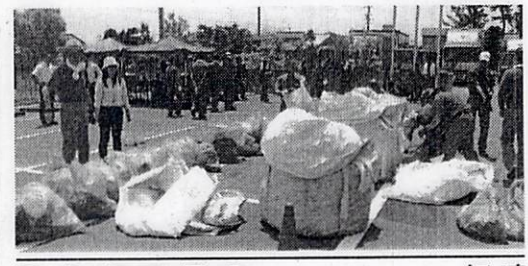


事故表彰も行われ、永年勤続10年の芝田謙治実施。15人ずつ2組に運動を啓発したのほり旗を掲げながら、ゴミ清掃し、みんなで弁当を食べて解散となったが、沢田社長は、「奉仕作業にみんないい顔で一生懸命に取り組んでくれた。感謝の気持ちでいっぱい」と、参加したドライバーらをねぎらった上で、「公道を使用している仕事なので、今後も続けていきたい」と話した。（高田直樹）

して恒例の清掃活動を

神貨協連 新会長に飯沼健史氏

【神奈川】神貨協連（三田佳美会長）は5月27日、総会を開催。三田会長は「おかげさまで昨年は50周年を迎えることが出来た。今日は51回目の総会で、また新たな時代の始まりとなる」とあいさつした。

役員改選では、飯沼健史氏（富国運輸）が新会長に就任。副会長には髙橋浩治（川崎運送）、安藤賢一（安藤運送店）、吉田修一（相模運輸）の3氏が就任した。（田川侑史）

飯沼新会長

表彰を受ける高薄氏

述べ、受賞者に表彰状を授与した。

貨物自動車運送事業長はあいさつで、長時間問題に関してやドライバールは高いと思う高一夫会長が公に関する国交省の委員となり解決に導いきたい」とのべた。

会長は「東京方支部の内部化し、組織体制が就任当初からてきた『会員支部重視』をさ意していただけ会員の皆さま

藤支部長

事への参加の推進、本部ならびに城東支部との連携強化を進め、「行動する支部」として業界・地域社会にアピールし、非会員への支部加入推進を図る。（半田桃子）

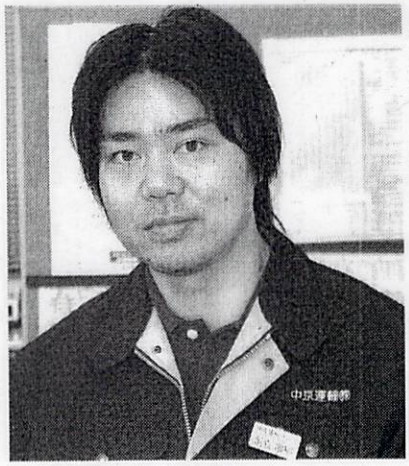
藤木幸二氏を部会長に再任

神ト協海コン部会

【神奈川】神ト協海上コンテナ部会は5月

NEXT VISION ～次世代の担い手たち～

信頼されるドライバーを育成



中京運輸

足立 昌樹社長

【愛知】創業55年の輸送実績と、安全管理できめ細やかなサービスを提供する中京運輸（名古屋市西区）。足立昌樹社長は異業種との交流を積極的に行い、社員が定着する職場環境を目指している。

現在34歳の足立社長は東京の大学を卒業後、就職を機に名古屋に戻る。他社での営業マンを経て、家業である同社へ入社。ドライバー職も経験し、現会長で実父の憲明氏からバトンを託され、社長に就任して3年目になる。

定期便がほとんどという同社。就業時間や休日などが明確になっている点は、現代人のライフスタイルに合致しており、定着率アップの一因と言えるが、それだけではない。「サービス業という観点から、人材育成や教育を特に重要と考えている」と話すように、セーフティーリーやエコドライブなどのツールを駆使しながら、社内で報奨金制度を実施するなど、モチベーションの向上にも努め、全体のレベルアップを図っている。最近では、21歳のドライバーが入社したり、大卒ドライバーの比率が高くなってきたりと、若返りや質の高い人材の確保にもつながってきた。

「優秀な人材が良い仕事をすることで、運賃交渉もしやすくなってくる」と話すが、自身も荷主との円滑な関係を保ちながら、適正運賃の確保に尽力している。「様々な事態に備えて書面化を進めている。荷主からの要望を何でも受け入れるのではなく、問題に対しては一緒に考えていくのが現実的。経営者や管理者が毅然とした態度を示すことで、ドライバーにもプロとしての意識が根付き、自分勝手な行動を慎むようになる」と見解を示す。

今後の会社運営について、「従業員教育を充実させ、高品質の物流を目指したい。信頼されるドライバーの育成やクレームの対応力も強化するポイント。時代の流れに応じた舵取りをしていけるように、徐々に取り組んでいけたら」と話す。（伊藤行理）

↑ 物流ウィークリー に掲載していただきました。

新潟 松田理事長を再任

松田理事長

【新潟】赤帽新潟県軽自動車運送協組はこのほど、総会を開催。役員改選では、松田憲治理事長を再任した。

松田氏は「これからも『お客様第一主義』を重んじ、愛される『赤帽さん』として努力したい」と話している。（土居忠幸）

三栄運輸 新ロ

【三重】紙製品関連やフェンス部材、巨大ステージ機台の保管と配送を手掛ける三栄運輸（山本貞夫社長、伊賀市）はこのほど、新